

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



2003.5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 229

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 2002年、鳥見報告!

## ぼくの細道

榎本秀和 (鴻巣市)

いったい1年間に何種類ぐらいの野鳥を見ているのだろうか? 若干マニアックな話題を、「埼玉県内鳥見ランキング」という企画にかこつけて、ざらっと報告してみると……。

### ◇はじめに

「榎本さんは月に何回ぐらい鳥を見に行きますか?」と尋ねられることがある。ごく気軽な問いかけなのであろうが、私としては返答の難しい質問である。松尾芭蕉を気取って「日々鳥見にして、探鳥をすみか」とでも煙に巻いておこうか。事実、私はいつも鳥を見ている。毎日の通勤の行き帰りにも、はたまた職場の窓辺からも、いつも鳥影に気が向くし、肉眼での種の識別もある程度は可能である。

「鳥を見ること」を探鳥会に参加することなどと限定するのであれば、月1回ぐらいのペースというところか。とは言いながら、日常の鳥見や探鳥会、個人的な探鳥ツアーを含めれば、いかにたくさんの種類の野鳥を見ていることか。

1998年から、鳥友に誘われ、1年間(1月~12月)に何種類ぐらい観察しているか記録を取ってみることになった。最初の年は予想もつかないものであったが、2年目からはい

ちおう年間200種という目安が立って、その結果は表1のとおりである。

### ◇県内鳥見ランキング

さて、2001年より橋口長和幹事の担当で「埼玉県内鳥見ランキング」という企画が開始された。この年の観察鳥種数部門は橋口幹事自ら1位に輝き、私は4位であった。

2年目の2002年は、私は県内で122種を観察したものの、結果は藤澤洋子氏に一蹴にされ2位にとどまった。

まあ、それはともかく、私の122種という記録だが、「あの人、ケガしたり体調崩してたはずなのに何で?」と訝しく思われる方に念のため言い訳をしておく、122種という記録は体調が悪かったからこそ達し得た、ということである。つまり、体の調整がたら、足慣らしのため、身近な場所を丹念に見て歩いた成果なのである。

表2では、122種を観察地別に集計してみた。この場合の観察地とは、その年いちばん初めにその種を観察した場所を意味する。このうちマイフィールドは、鴻巣市大間の自宅から鴻巣駅までのJR高崎線西側ぞいの徒歩15分ほどの道筋と、荒川河川敷(糠田橋の南から御成橋の北まで)とする。それ以外の場所も、ほとんどがウチから自動車ですら30分ほどで行ける探鳥地ばかりである(坂東大橋までが正味1時間ほどか)。

このようにマイフィールドで23種、鴻巣市に隣接する市町を含めると87種もの野鳥を地

表1 日本国内年間観察種数

1998(平成10)	214種(うち埼玉県内)	84種
1999( // 11)	208種( //	68種)
2000( // 12)	242種( //	87種)
2001( // 13)	217種( //	96種)
2002( // 14)	223種( //	122種)

表2 122種の初認観察地別の内訳

① マイ フィールド	② 石 戸 宿	③ 八吉 丁見 湖百 穴	④ 吹 上 町	⑤ 昭菫 和蒲 池町	⑥ 丸 山 公園	⑦ 物 見 山	⑧ 川 島 町	⑨ 森 林 公園	⑩ 大 麻 生	⑪ 利 根 川	⑫ 城 探 峯 鳥公 会園
23種	24種	21種	6種	13種	1種	8種	1種	4種	7種	8種	6種

※①と、鴻巣市に隣接する②～⑤をいちおう地元とする。

表3 122種の初認観察月別の内訳

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
種数	59	13	17	4	9	5	1	-	2	7	-	5	122
%	48.4	10.7	13.9	3.3	7.4	4.1	0.8	-	1.6	5.7	-	4.1	100.0

元で見ている。2002年ランキング1位の藤澤氏も、ご自宅から至近の秋ヶ瀬・彩湖・川越市南古谷を主として探鳥されているわけであり、身近なフィールドも捨てたものではない。足もとから丁寧に見て歩くことの大切さをあらためて感じるしだいである。

表3は、私の122種について月ごとに集計したものである。スズメからムクドリから、全てその年のニューバードとして記録する1月は、当然のことながら1か月で1年間の約半分を見てしまう。3月までで7割以上、6月までで9割近くに達するのだから驚きである。季節の変わり目に多少メリハリがあるのも興味深い。

### ◇おわりに

2002年における私の鳥見報告は以上のとおりである。本稿により、私のバードライフが体系化され(笑)、私の行動パターンが明らかになってしまうかもしれないが、以前から言っているとおり、私はいわゆるトリ屋ではないし、趣味だっただけにある。

しかし、それでも探鳥は楽しい気分転換で

あることも事実で、スコープを担ぎ、右手の三脚ダコをなでたりしながら、今日も私は「ぼくの細道」を歩いている。

### 参 考 文 献 ?

拙稿 「私のバードライフ

これだけはこだわりたい！」

支部報『しらこぼと』115号

(1993年11月号)

拙稿 「400種達成！

我がライフリストに想う」

支部報『しらこぼと』206号

(2001年6月号)

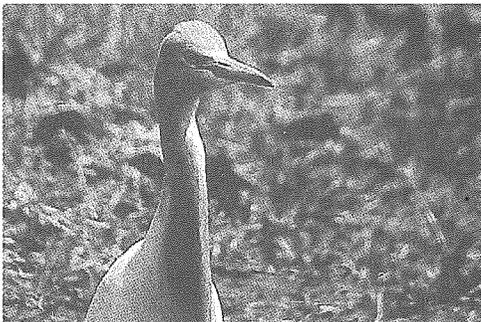


右端のナイスガイ？が筆者

(写真：高草木泰行)



- 幸手市平須賀宝聖寺 ◇12月3日、シメ7羽、高木の実を夢中で食べていた(徳田潤子)。
- 幸手市倉松川 ◇12月23日、吉野橋際でクイナ、ずっと鳴いていた(徳田潤子)。
- 幸手市神扇池◇1月15、16日、池の傍の鉄塔でハヤブサ若鳥1羽。11月は茶色がかっていたが、今日は大分黒ずんでいた。同じ個体だろうか?(徳田潤子)。
- 幸手市アスカル幸手 ◇1月17日、チョウゲンボウ食事中。食べられているのは、何鳥だろう。濃い灰色っぽい羽が舞っていた(徳田潤子)。
- 幸手市天神島神社 ◇1月28日、アトリ17羽。今年はアトリの当たり年? あちこちで出会う(徳田潤子)。
- 杉戸町大島新田調整池 ◇12月12日、トモエガモ♂3羽♀2羽。5日後にはいなかった(徳田潤子)。
- 松伏町大川戸 ◇12月15日、公園予定地の草地でホオアカ3羽十、カシラダカ200羽十、タヒバリ等。鳥が多い。チョウゲンボウが上空を通過。1月6日、造成中の池畦に舞い降りたオオタカ若鳥1羽。その後、上空でチョウゲンボウと空中戦を披露してくれた(鈴木紀雄)。◇2月11日午後2時、県立緑が丘公園予定地内でチョウゲンボウ1羽。地上1m位の柱にとまっているのを確認。車内からじっくり観察した。草地でホオジロ6~7羽、池でオオバン7羽、コガモ6羽、ヒドリガモ2羽、アオサギ2羽、コサギ1羽、ダイサギ2羽、上空でヒバリ



アマザキ (編集部)

鳴く。ハクセキレイ、タヒバリがすごかった。あちこちに40羽位いた。公園が完成するのが楽しみだ(小菅靖)。

- 岩槻市岩槻文化公園 ◇12月19日、南端近くの葦原で久しぶりにアリスイ1羽確認。ブッシュでアトリ1羽。12月23日、カワラヒワ約20羽の群れ中にマヒワ♂1羽。南端の木立でアトリ約15羽。ここでこれだけの数を見るのは初めて。ツミの飛翔。今冬は村国池や南端近くの葦原にカシラダカの小群が居ついている。12月27日、南端の木立でオオタカ成鳥1羽がとまっていたが、元荒川下流の方へ飛んで行った。イカル1羽、「ケッケッ」と鳴きながら木の頂きにとまる。ここでは初めて。1月1日、エナガ3羽、ここでは初めて。この日、29種確認。1月2日、村国池の林で昨日と同一と思われるエナガ2羽がシジュウカラ、カシラダカ、アオジと一緒にいた。1月4日、相変わらずカモが少ない。ふと、木にとまった鳥を見たらトラツグミだったが、すぐにブッシュに飛び込んだ。この日、27種確認。1月7日、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オカヨシガモ、イカルチドリ、セグロカモメ、ユリカモメ、モズ、ジョウビタキ♂3羽♀2羽、シロハラ、アカハラ、ルリビタキ♀、エナガ2羽、シジュウカラ、メジロ、アオジ、シメ、カケス、オオタカ若鳥1羽他。この日、39種確認。1月9日、ダイサギ1羽、アオサギ2羽、カルガモ約30羽、コガモ約30羽、ヒドリガモ60羽十、ハシビロガモ♂♀各1羽、イカルチドリ3羽、キジバト約30羽、コゲラ5羽、ハクセキレイ5羽十、セグロセキレイ、ヒヨドリ約30羽、モズ♂3羽♀2羽、ジョウビタキ♀4羽、シロハラ♀2羽、アカハラ♂3羽、ツグミ2羽、ウグイス約10羽、エナガ2羽、シジュウカラ10羽十、メジロ約20羽、アオジ約30羽、カワラヒワ約10羽、シメ5羽十、ホオジロ♂2羽♀2羽、ベニマシコ♀1羽、スズメ約20羽、ムクドリ10羽十、ハシボソガラス約10羽、シラコバト1羽、キジ、ハヤブサ1羽、コジュケイ、

カシラダカ約20羽、カイツブリ1羽。イカルチドリは水浴び中。ジョウビタキ♀2羽は今頃縄張り争い。ハヤブサは、ドバトを追いかけ、南東へ飛び去る。1月11日、トラツグミ1羽、林床で餌採り。アトリ1羽、エナガ2羽。2月4日、コサギ、ダイサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ヨシガモ♀1羽、マガモ♂1羽、イカルチドリ、セグロカモメ、ユリカモメ、キセキレイ、ジョウビタキ♀1羽、カワセミ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、アオジ、カシラダカ、シメ、アトリ約15羽、オオジュリン、カケス他計41種確認（鈴木紀雄）。

**岩槻市岩槻公園** ◇1月3日、小雪ちらつく中、散歩していると、木立を飛び回る小鳥の群れ。アトリ23羽確認、ビಕ್ಕリ（鈴木紀雄）。

**岩槻市南平野** ◇1月10日、タシギ6羽、ヒバリ20羽十、タヒバリ約20羽、ホオジロ3羽十、ホオアカ3羽十、カワラヒワ約10羽、ツグミ2羽、カシラダカ5羽十（鈴木紀雄）。

**岩槻市長宮** ◇2月2日午後2時10～2時35分頃、大光寺境内及びその周辺でスズメ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、シメ、ツグミ、ルリビタキ♂1羽、アオジ、コゲラ、シロハラ、ウグイス他計16種確認（石川敏男）。◇2月18日、農道でようやくホオアカ3羽を同時に確認。♂2羽♀1羽と思われる。少なくとも1羽は必ず見られる。その他ツグミ、カシラダカ、ホオジロ、タヒバリ、ヒバリ等（鈴木紀雄）。

**岩槻市太田** ◇2月8日、実家の庭の水場にアトリ3羽姿を現す。初めてのできごと（鈴木紀雄）。

**越谷市しらこぼと運動公園** ◇1月4日、ダイサギ1羽、コガモ2羽、シラコバト1羽、ツグミ7羽、メジロ8羽、シロハラ1羽、ホオジロ1羽、カシラダカ2羽、アオジ2羽、ジョウビタキ1羽、マヒワ1羽他計22種（小菅靖）。

**越谷市レイクタウン建設予定地** ◇1月13日、カワウ2羽、コサギ6羽、ダイサギ1羽、タゲリ10羽、キジ1羽、ジョウビタキ2羽、



モズ（編集部）

オオジュリン1羽、ホオジロ28羽、カシラダカ17羽、アオジ3羽、ツグミ4羽、モズ3羽、メジロ11羽、シメ1羽他計22種（小菅靖）。

**春日部市内牧** ◇1月11日、ベニマシコ♂1羽♀3羽。マヒワ1羽、上空を「ジュイン」と鳴きつつ通過。オオタカ若鳥1羽、木にとまっていたツグミを襲うも失敗。2月13日、オオタカ成鳥1羽、アカゲラ♀2羽。2月18日、この日40種確認。さらにノウサギも初認。ビಕ್ಕリ！（鈴木紀雄）。

**春日部市増田新田** ◇1月13日午後2時10分～2時30分、みどり住宅内の東側遊水池でコガモ15羽、カルガモ1羽。中野の田んぼでタゲリ2羽、ゴイサギ1羽、用水の枯れ草でアオジ1羽（石川敏男）。

**春日部市大池親水公園** ◇1月13日午後3時～3時30分、ユリカモメ55羽十、コガモ約20羽、キンクロハジロ多数。同公園西側畑地でシラコバト2羽（石川敏男）。

**蓮田市黒浜沼周辺** ◇12月24日、上沼近くの田んぼでタゲリ1羽、今年は少ない。療養所内でアオゲラ♂1羽。1月4日、上沼北側でオオタカ成鳥1羽が飛翔。療養所内でルリビタキ♀1羽、頭の一部白変のスズメ1羽。1月29日、タゲリ1羽。何だか今季は少ない（鈴木紀雄）。

**久喜市菖蒲公園** ◇1月4日、昭和池でヨシガモのペア。ホオジロガモ♂1羽、もぐってばかりで、白くて、遠目にミコアイサに間違えそう。おむすび頭の一度会いたかったカモ。1月18日、トモエガモ♂♀各3羽、クイナ、カワセミ。アトリ多数（徳田潤子）。

吉川市旭 ◇2月11日午前11時50分頃、吉川松伏工業団地内の公園でタゲリ10羽。車内より確認した（小菅靖）。

さいたま市大谷 ◇1月9日、環境広場でツグミ60羽十、タシギ4羽、イカルチドリ5羽、タヒバリ、ハクセキレイ、ムクドリ、シメ等。1月10日、タゲリ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市八王子 ◇2月17日午前11時頃、かやのき団地内でシロハラ1羽、歩道の脇の植え込みの下から、庭の奥のほうへ跳ねて行きました。ツグミかなと思ってよくみたらシロハラでした。この団地に住んで10年になりますが、シロハラに出会ったのは初めてです。シロハラはこの2週間ほど前にも隣接する八王子公園で1羽見かけました（大塚純子）。

渡良瀬遊水池 ◇12月17日、強風の中、湖面でカワアイサ、ミコアイサ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、マガモ等。他にノスリ、コチョウゲンボウ。購入りはハイロチュウヒ♂3羽♀4羽十、チュウヒ約10羽（鈴木紀雄）。◇1月26日、ヨシガモ4ペア。北ブロックでミコアイサ20羽十。今日は何度もベニマシコに出会う。1羽は特に濃赤できれいだった。谷田川でホオジロガモ♀4羽、周りのコガモに比べて何と用心深い事か（徳田潤子）。

嵐山町將軍沢 ◇12月30日午後1時～3時、ベニマシコ♀1羽、カシラダカ、ホオジロ、アオジ、ハイタカ1羽、シメ、エナガ。ガビチョウ2羽、5～6m目前に出現、山道で採餌したり、笹ヤブに入ったり（後藤康夫）。

嵐山町遠道 ◇12月31日午前10時～11時、ベニマシコ♂♀各1羽、マヒワ7～8羽、ルリビタキ♀1羽、アカゲラ1羽、カシラダ



ムナグロ（編集部）

カ、アオジ他（後藤康夫）。

小川町木呂子 ◇12月31日午前11時40分～午後1時30分、ベニマシコ♂♀各2羽、マヒワ10数羽、カシラダカ他（後藤康夫）。

寄居町玉淀湖 ◇1月12日午後2時30分～3時、ダム上流崖側でオシドリ約200羽、マガモ、カルガモ、オナガガモ、トモエガモ♂♀各2羽（鈴木敬）。◇1月13日、玉淀湖の堰から上流約300mの地点でオシドリ約250羽が集結。トモエガモ♂♀各2羽、オシドリの群れに混じっているのを確認。カヤクグリ1羽、湖横の畑でホオジロ、カシラダカと共に地上で採餌。その後、低木の頂きにとまる。カワセミ、アカゲラ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、カシラダカ他計24種確認。玉淀湖上流が広範囲にわたり凍りついているため、その少し下流の凍っていない所にカモが集結している（後藤康夫）。

滑川町森林公園 ◇1月5日午前11時～午後2時20分、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ルリビタキ、ジョウビタキ、キクイタダキ5～6羽、ビンズイ2羽、エナガ他計35種確認（後藤康夫）。

表紙の写真

### アオアシシギ（チドリ目シギ科クサシギ属）

日本の鳥を種名で50音順に並べると、トップはアオアシシギ。声や姿の涼やかさでも、日本の鳥の中でトップクラス。春の渡りで日本に姿を見せるのは、4月下旬から5月下旬頃。少し上に反った嘴と長く青い（時には黄色っぽい）脚、白い腹が目印。田植えが終わったばかりの水田をゆっくりと歩き、立ち止まっては身体を上下にヒョコッと動かす。ピーーヨ・ピピピと鳴いて飛び立つ。

蟹瀬武男（さいたま市）

# 行事案内



コシアカツバメ (富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般100円、会員と中学生以下は50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集場所までお出でください。

## 加須市・はなさき公園探鳥会

期日：5月4日(日)

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅南口、または午前9時はなさき公園駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮8:09→久喜8:29着にて、東武伊勢崎線春日部8:21→久喜8:34発に乗車、花崎8:42着。

担当：中里、玉井、長嶋、田村、四分一、宮下

見どころ：園内の緑がはっきりとしてきました。植物園では花の香りがいっぱいです。アシ原を抜けて青き堀川の土手を歩きます。オオヨシキリの合唱を聞きながら爽やかな風に吹かれてみませんか。

## 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

「干潟を守る日2003」参加行事

期日：5月5日(月・祝)

集合：午前9時40分、JR武蔵野線南船橋駅改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:34→南浦和8:37→南船橋9:30着。

担当：杉本、手塚、菱沼(一)、長谷部

見どころ：谷津干潟は今年でラムサール条約登録10周年を迎えます。そのお祝いに冬はツクシガモが3羽来てくれましたが、シギやチドリ類ではどんな珍客が見られるのでしょうか。お楽しみに！

## 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：5月5日(月・祝)

集合：午前8時45分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：田中、玉井、中村(榮)、吉安、長嶋、長野、松永、榎本(建)

見どころ：元荒川から黒浜沼への道は、初夏の光に輝く田んぼの中です。今年もそこでムナグロたちが、北へ向かう準備をしています。昨年はキョウジョシギ、アマサギ、チュウシャクシギ、コアジサシなど35種の鳥たちが姿を見せてくれました。

## 長野県・白馬山麓探鳥会(要予約)

期日：5月10日(土)～11日(日)

定員に達したので締め切りました。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月11日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：榎本(秀)、後藤、中里、和田、森本、倉崎、栗原、大澤、高橋、飛田、藤田、石井

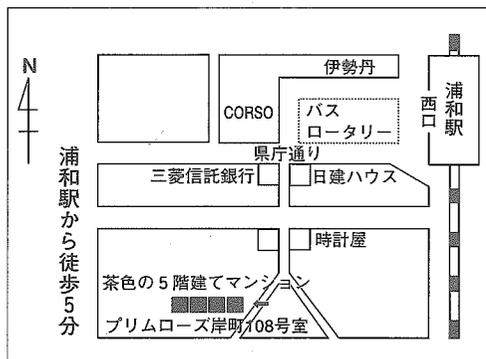
見どころ：今年も五月晴れ。200回目をいつの間にか過ぎ、また一つの大きな節目を越えた大麻生です。初心に帰って一緒に歩いてみませんか。

### 『しらこぼと』袋づめの会

期日：5月17日（土）午後1時～2時ころ

会場：支部事務局108号室

案内：夏を思わせる空の青さ、旅をするには絶好の季節、GWにはどこかへおでかけでしたか。そんな旅の思い出をご披露ください。フレッシュ『しらこぼと』に目を通しながらいつもの作業もよろしくね。



### さいたま市・三室地区区例探鳥会

期日：5月18日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、

若林、兼元、森（力）、赤堀、小菅、新部

見どころ：5月は三室の探鳥会が始まった月。今年で19年になりますが、初心を忘れることなく楽しい交流の場所にしたいものです。田んぼが少なくなった見沼ですが、田植えを終えた田んぼに、吹く風と夏鳥を楽しみにお出でください。

### 長野県・戸隠飯綱高原探鳥会 (要予約)

期日：5月24日（土）～25日（日）

定員に達したので締め切りました。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：5月25日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越8:43発、所沢8:36発に乗車。

担当：長谷部、高草木、中村（祐）、山本（真）、久保田、山本（義）、石光、山田（義）

見どころ：岸辺でひっそりと獲物を狙うササゴイとアシ原で元気にさえずるオオヨシキリ。対照的な2種の鳥を探しましょう。

## 埼玉県内年間鳥見ランキング結果発表!!

### 2002年観察鳥種数ランキング

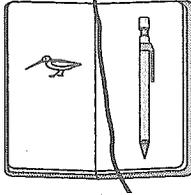
2003年2月1日確定

順位	鳥種数	氏名	住所
1位	141種	藤澤 洋子	志木市
2位	122種	榎本 秀和	鴻巣市
3位	118種	玉井 正晴	蓮田市
4位	116種	鈴木 敬	小川町
4位	116種	逸見 嶮	吹上町
6位	109種	橋口 長和	春日部市
7位	107種	四分一 保雄	羽生市
8位	105種	野村 弘子	春日部市
9位	101種	新部 泰治	さいたま市

### 2002年探鳥会参加数ランキング

2003年2月1日確定

順位	参加数	探鳥地数	氏名	住所
1位	51回	24カ所	鈴木 敬	小川町
2位	42回	20カ所	藤掛 保司	川越市
3位	30回	19カ所	新部 泰治	さいたま市
4位	28回	20カ所	四分一保雄	羽生市
5位	28回	19カ所	田邊八州雄	越谷市
6位	19回	16カ所	野村 弘子	春日部市
7位	19回	10カ所	玉井 正晴	蓮田市
8位	16回	8カ所	橋口 長和	春日部市
9位	15回	11カ所	江波 功	さいたま市
10位	10回	8カ所	榎本 秀和	鴻巣市



# 行事報告

12月23日(月、休) 加須市 はなさき公園

参加: 35人 天気: 晴

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ  
コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ  
チョウゲンボウ キジ バン オオバン タシギ  
シラコバト キジバト カワセミ ヒバリ ハク  
セキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ  
モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ホオジ  
ロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラ  
ヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボ  
ソガラス ハシブトガラス (37種) 澄み切った朝  
の空気の中、遠く富士山を望みながらスタート。  
すぐにジョウビタキがしきりに挨拶して出迎えて  
くれた。池ではカモたちがのんびり羽を休めてい  
た。上空ではチョウゲンボウが舞う。定番のシラ  
コバトが随所で見られた。最後にカワセミが間近  
に出てくれた。「初めて見る」という女性は声が上  
ずっていた。一年最後の探鳥会を穏やかな冬の陽  
の中で楽しく過ごすことができた。(中里裕一)

1月3日(金、休) さいたま市 さぎ山記念公園

参加: 40人 天気: 曇後雪

カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ カル  
ガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシ  
ビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ コジュ  
ケイ バン オオバン キジバト カワセミ コ  
ゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ  
ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ ア  
オジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カ  
ケス ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 気  
温1℃。底冷えのする一日。たわわに実る柿の実  
に群がるツグミの大群が圧巻。さいたま市のツグ  
ミが全部集まったよう。一方、ついにタゲリもカ  
シラダカも現れず。ウグイスは2年連続して声も  
聞こえない。少しずつ変わる鳥相を見続けた15年。  
雪がちらつき始めた野外懇親会では、携帯コンロ  
で暖めた燗酒が一番人気だった。(海老原美夫)

1月5日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 39人 天気: 晴

コサギ アオサギ オオタカ タシギ キジバト  
コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セ  
グロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリ  
ビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグ  
イス シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒ  
ワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス  
ハシブトガラス (27種) 石川氏が平成7年1月に  
探鳥会を始めて25回目。水辺の鳥は少ないが、山  
の鳥はそれなりに観察できる。参加者も徐々に増  
え、リーダー、参加者の皆様のご協力で見つけた  
ことを深謝したい。この日はカワラヒワの群れ、  
オオタカ、ジョウビタキ、シメ、シロハラ、  
タシギなどが出てくれ、探鳥会初認のアオサギ出  
現で皆を喜ばせ、満足できた。(吉安一彦)

1月5日(日) 千葉県船橋市 船橋海浜公園

参加: 18人 天気: 晴

ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ  
ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ スズガモ  
ホオジロガモ ミヤコドリ シロチドリ ダイゼ  
ン ヨーロッパトウネン ハマシギ コオバシギ  
ミユビシギ セグロカモメ カモメ ハクセキ  
レイ タヒバリ メジロ スズメ ムクドリ ハシ  
ボソガラス (23種) 北風が強くて肝心のスズガモ  
の群れがどこかへ避難したようで見当たらない。  
しかし、そこは三番瀬。干潟にもミヤコドリが72  
羽見られた。コオバシギ、ヨーロッパトウネンも  
現れて花を添えてくれた。(杉本秀樹)

1月8日(水) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 46人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガ  
モ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ ハシ  
ビロガモ ホシハジロ オオタカ ノスリ バン  
キジバト アカゲラ コゲラ セグロセキレイ  
ビンズイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウ

ビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ シメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 集合場所で大矢森林公園所長と名刺交換でのご挨拶。担当リーダー紹介後に、ルリビタキ♀も参加。通常コースは滑りやすいのと、下草刈りや木の伐採作業中。園内バスコース利用とした。ビンズイ、キクイタダキ、エナガ等、全員で確認。山田大沼には7種のカモたちが集まってくれた。(藤掛保司)

1月12日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 30人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ ノスリ イカルチドリ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (29種) 踏切を越えて土手に出ると、秩父の峰々が目の前に広がる。次々と冬鳥たちが登場してくれる。ゴルフ場を過ぎ、水路沿いに進む。枯れ木の林の中にベニマシコが出てきた。その艶やかな赤い衣装を皆で堪能できた。思わぬお年玉に心が躍る。河原に出たが、舟が通ってカモが散ってしまい、1羽も見ることができなかった。(中里裕一)

1月13日(月、休) 戸田市 彩湖

参加: 71人 天気: 晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ バン オオバン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ イワツバメ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 朝から暖かい。池では、バン、オオバンのお出迎え。アオジも道に沿って飛ぶ。釣堀の脇ではジョウビタキ、湖では水鳥たちが歓迎。鴨9種。カンムリカイツブリ20羽以上、ヨシガモ♂7♀5、ミコアイサの

つがい。ゆつくりと約3時間。71人の行列だった。(倉林宗太郎)

1月18日(土) 久喜市 久喜菖蒲公園昭和池

参加: 26人 天気: 晴

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ゴイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ ホオジロガモ ノスリ チュウヒ チョウゲンボウ バン オオバン キジバト コゲラ ハクセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン アトリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 風もなく、防寒対策……の言葉が不必要な朝だ。あっピンズイがいる松の木下に。アトリの群れだの歓声。幸先がいい。前進して中の島付近のトモエガモを探すと、いたいた♂5羽♀3羽の豪勢さ。流石トモエガモの昭和池。参加者全員満足。(大坂幸男)

1月18日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 7人

海老原教子、海老原美夫、倉林宗太郎、原田譲、藤野富代、松村禎夫、谷津弘子

1月19日(日) 長瀨町 長瀨

参加: 37人 天気: 曇

カイツブリ カワウ オシドリ マガモ カルガモ コガモ トビ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 冬の長瀨は、かつてオシドリとヤマセミを楽しみに参加する方が多かったが、静かな長瀨が最近変化しつつある。それにつれてオシドリの越冬場所が変化してしまったようだ。ヤマセミの観察機会も減少傾向にある。結果としての野鳥の種類はそこそこ観察できたが、数が少なかった。これが長瀨だけの今年だけの現象ならいいのだが。(小池一男)

1月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 69人 天気: 曇

カイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ  
バン イカルチドリ タシギ ユリカモメ セグ  
ロカモメ キジバト カワセミ ヒバリ キセキ  
レイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ  
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ シロ  
ハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジ  
ロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワ  
ヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス  
ハシボソガラス (35種) 例年新しいものに挑戦す  
る参加者がいて新年の探鳥会は楽しい。今年も東  
京から元気な小学生二人、負けずにと地元の小学  
生も参加。冬らしい寒い探鳥会で、これもいいも  
のだ。今年も楽しくやっていたい。(楠見邦博)

1月26日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 56人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ マガモ  
カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ  
キジ バン タシギ キジバト カワセミ コゲ  
ラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイ  
ス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダ  
カ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ  
スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス (37種) 始まってすぐ田ん  
ぼの溝にタシギ、バン、シメ、ツグミが同時に出  
現。沼ではカワセミが間近で見られた。アシ原で  
はオオジュリンが出たり入ったり。ジョウビタキ  
もみずが各所に現れて愛嬌を振りまく。チョウゲ  
ンボウ、オオタカも舞ってくれた。前日の寒風  
に変わって鳥日和に恵まれ、鳥たちが元気に姿を見  
せてくれた。(田中幸男)

1月26日(日) 狭山市 入間川

参加: 40人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ  
トビ イカルチドリ イソシギ キジバト カワ  
セミ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキ  
レイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モ  
ズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグ  
ミ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ

シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (40種) 今回の目玉は入間川  
初登場のヨシガモ。美しく数が少ないため、こい  
つに出会おうと結構うれしい。ベテランパードウ  
ォッチャーも一目置く存在だ。夏にこれくらいのス  
ターが出てくれたら暑さも忘れて盛り上がるんだ  
けどなー。(長谷部謙二)

2月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 89人 天気: 曇

カワウ ダイサギ マガモ コガモ オオタカ  
コジュケイ クイナ バン キジバト カワセミ  
アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ  
セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カヤクグリ  
ルリビタキ ジョウビタキ アカハラ シロハラ  
ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジ  
ロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ シ  
メ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス  
ハシブトガラス (37種) 高尾の森周辺での探鳥は  
今回のハイライトだった。湿地ではクイナが行っ  
たり来たり。ルリビタキがすぐ近くまで寄ってき  
たかと思うと、低木の横枝にはカワセミがじっと  
止まっていた。学習センターの横でカヤクグリを  
見られた幸運な人も数人いた。アリスイとベニマ  
シコが参考記録だったのが心残り。(岡安征也)

2月2日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 47人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ カルガモ コガモ ハシビロガモ ホシハジ  
ロ キンクロハジロ ミコアイサ チョウゲンボ  
ウ キジ バン オオバン コチドリ イカルチ  
ドリ タゲリ イソシギ タシギ セグロカモメ  
キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セ  
グロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ  
ウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メ  
ジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュ  
リン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ  
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (45  
種) 調節池の大掛かりな工事が始まって鳥たちへ  
の影響を心配したが、この日は工事休み。風も  
なくおだやかな天気に誘われたのか、つかの間の  
休日を鳥たちも楽しんでいるようだった。出現鳥  
は45種で、民家園では最高記録。この日は鳥たち  
に感謝。(手塚正義)

# 連絡帳

## ●ヒナを拾わないで!!

巣立ちヒナを見かける季節になりました。支部事務局にとっては、「恐怖の誘拐犯、説得の季節」です。

「落ちていたヒナを保護しました。引き取ってください」という電話がかかってきます。それに対して、

- 1, 「落ちていた」のではなく、まだ飛ぶ力が弱いので、一時的に「降りている」のであり、
- 2, 姿が見えなくても必ず親鳥が見守っています。
- 3, だから、拾わない(保護しない、誘拐しない)で、そのままに。拾ってしまった場合は、できるだけ早くもとの場所に戻して。
- 4, 猫や車が心配な時は、木の枝先などに。
- 5, 自然界で生き抜けるように野鳥を育てることは、人間にはできないし、野鳥を飼うことは法律違反にもなります。

などと説明します。それでも、「こんな小さいのに、巣立ったはずがない」とか何とか、なかなか納得してもらえません。

そんな現場に行き合ったり、誰かから相談を受けたりした時は、「ヒナを拾わないで!!」とお伝えください。

## ●普及活動

2月23日(日)と3月2日(日)本庄市旭公民館主催の親子自然観察教室で町田好一郎が野鳥観察を指導。参加者22名。公民館近辺の野鳥や利根川での鴨の観察を楽しみました。

3月2日(日)坂戸市「ふるさとの川高麗川を考える会」第17回鶴舞・浅羽地区野鳥観察会で増尾隆・増尾節子・坂口稔が指導。参加者22名、観察鳥28種。

3月9日(日)神泉村教育委員会主催の野鳥観察会で町田好一郎が神流川周辺の野鳥の

解説と観察指導。参加者23名。

3月29日(土)さいたま市立浦和博物館および見沼たんぼ周辺で開催されたボーイスカウト浦和5団カブスカウト部門の探鳥会で、楠見邦博、倉林宗太郎、森力、新部泰治が指導。参加者は33名、観察鳥30種。

## ●訃報

元幹事で、人間川、西川越などの探鳥会リーダーとして活躍されていた石井幸男さん(川越市)が、2月17日逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

## ●5月の事務局 土曜と日曜の予定

- 3日(土)6月号編集作業。
- 10日(土)6月号校正。
- 17日(土)袋づめの会。
- 18日(日)役員会

## ●会員数は

4月1日現在2,578人です。

# 活動報告

- 2月17日(月)事務局の下水道工事の為の準備作業(海老原教子)。19日(水)も(手塚正義、橋口長和、藤掛宮子、藤掛保司)。
- 3月1日(土)工事終了の整理作業(海老原美夫、小林みどり、内藤義雄、山部直喜)。
- 3月8日(土)4月号校正作業(大坂幸男・山田義郎)。7日(金)も(海老原美夫)。
- 3月8日(土)本部の評議員会に評議員として橋口長和が、監事として海老原美夫が出席。
- 3月16日(日)役員会議(司会:海老原美夫、各部の報告・行事予定の変更・その他)。
- 3月17日(月)支部報のみの会員宛て4月号を郵便局から発送(倉林宗太郎)。
- 3月18日(火)本部常務会に出席(海老原美夫)。

しらこぼと 2003年5月号(第229号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号  
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>  
 編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamabezuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)  
 住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608  
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社